

令和元年

第2回（6月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通告者	2番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 男性の家事・育児参加を促進する取り組みについて</p> <p>少子高齢化が進む中で、女性が社会参加しやすい仕組み作りは、本町が今すぐに注力すべき課題である。</p> <p>男性の家事・育児参加を町職員自らが率先して行っていくことで、女性の社会参加に対する問題点を認識し、諸々の課題を解決していくことに繋がっていくと考え、以下を問う。</p> <p>(1) 現行の子育て支援サービスにおける課題をどう認識しているか</p> <p>本町の子育て世代では共働きの核家族世帯が多い。長期連休時に子育て支援サービスが一斉に休業し、仕事に支障が出るため、何らかの託児サービスを提供してほしいという要望も多く聞かれる。</p> <p>このように現状の子育て支援サービスにて対応できていない課題には、どのようなものがあるか。</p> <p>(2) 特定事業主行動計画に基づく取り組みの実施状況は</p> <p>町職員が仕事と子育ての両立を図ることができるように策定された、「特定事業主行動計画」に基づき、父親休暇取得推進などの子育てしやすい職場環境づくりに取り組まれているが、進捗と今後の課題は。</p> <p>(3) 男性の家事・育児参加を促す職員教育は十分に行っているか</p> <p>ワーク・ライフ・バランス実現のために、男性の家事・育児参加を促す取り組みは、非常に重要である。</p> <p>女性職員割合も増える中、役場が率先して男性の家庭参加を促す必要があるが、職員に対して十分な教育を行い、なおかつ家族からも意見聴取を行ない、取り組みの改善に努めているか。</p> <p>(4) 正職員以外の現場職員からの意見聴取及びその反映方法は</p> <p>住民福祉に係る各種事業においては、臨時職員及び外部機関に業務を委託しているケースも多く、利用者の声が責任者に対して届きにくい。適切に意見把握するために、どのような対応を行なっているか。</p>		

(5) 本町全体において男性の家事・育児参加を促すためにどのような計画があるか

本町は従業員規模の小さな事業者が多く、また女性の従業者も比較的多い状況にある。このため、行政としての強力な後押しがなければ、男性の家庭参加を促すことは困難であると考え。この環境を変化させ、女性が社会参加しやすい町づくりをどのように進めていく考えか。

質問の相手

町 長、教育長

通告順位	2	通 告 者	11番 太 田 一 彦 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 岩峠駐車場の有料化について</p> <p>(1) 3月議会で、10月を目途に有料化を進めるという事だったが、予定通りか。</p> <p>(2) 運営方法は、直営か業務委託か。委託の場合はどのように業者を選定するのか。</p> <p>(3) 陶器まつりの期間中、当駐車場は第二会場として使用されているが、有料化後はどうなるのか。</p> <p>(4) 住民及び利用者に対しての周知等はどのように行うのか。</p> <p>2. 波佐見町環境保全条例について</p> <p>(1) そもそも本条例を制定する目的は何か。 また、本町にとって必要なのか。</p> <p>(2) 本条例に関する住民や事業所の意見を聞き、現状把握をするべきではないのか。それと同時に住民や事業所に対して周知や説明、指導を含め巡回をするべきではないのか。</p> <p>(3) 本条例には罰則規定を設けると聞くが、具体的にはどのようなときに罰を受けるのか。</p>		

通告順位	3	通告者	13番 石峰	実議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. スマート農業等、今後の農林業振興について</p> <p>(1) 農林業を取り巻く環境は従事高齢化、担い手不足等によりその営農状況が年々深刻となり、また、新規就農者の定着化等もままならない状況である。そうした中において農家は今後、小型無人飛行機ドローンや自動走行無人トラクター等の導入とAIやICTなどの先端技術を活用した肥培管理による負担軽減を図る必要に迫られる。農林業の営農活動や形態においてスマート農業の推進等々、今後の農業経営のあり方や農家所得の向上に繋げる施策をどのように図る考えなのか。</p> <p>(2) 農林水産省は今年度から新規就農支援事業での交付対象要件の見直し、いわゆる世帯全体の合計所得上限が600万円以下とする要件を打ち出した。併せて全体の予算枠で前年より1割以上削減した内容になっている。農地の集積・集約化、大区画化や担い手確保の面から、多くの自治体から疑問や不満の声が出ているが、本町における就農支援事業展開での影響等はどんな状況か。</p> <p>また、町独自の対応として45歳以上の新規就農者に対する支援措置を設ける考えはないか。</p> <p>2. 新庁舎建設の基本計画策定等について</p> <p>庁舎建設検討委員会からの答申を受け、今年度中に庁舎建設計画の基本計画と基本設計の策定が進められているが、計画決定段階において建設場所や庁舎建築にあたって配置、地元産木材活用等、特に配慮したい基本的な内容とはどういったものか。</p>			

通告順位	4	通 告 者	7 番 百 武 辰 美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 汚水処理施設について</b></p> <p>本町の汚水処理については、公共下水道事業と浄化槽設置整備事業補助金の2つの事業により整備が進められている。平成29年3月の長崎県汚水処理構想の策定にあたり、本町でも下水道事業の見直しが行われ、また、今年度より浄化槽設置補助金制度の見直しが行われた。</p> <p>汚水処理施設は、衛生的で快適な生活環境を実現し、河川や大村湾等の公共用水域の水質保全を図るために不可欠な施設である。汚水処理施設について次の事項を問う。</p> <p>(1) 直近の下水道・合併浄化槽における汚水処理人口普及率は。</p> <p>(2) 現在行っている公共下水道の汚水管布設の範囲と工事完了予定時期は。</p> <p>(3) 公共下水道接続可能区域図に、事業認可区域と未認可区域とあるが、未認可区域とはどのような区域か。</p> <p>(4) 今年度見直しが行われた、浄化槽設置整備補助金の改正内容は。</p> <p><b>2. 公共施設の管理について</b></p> <p>波佐見町講堂の改修が完了し、また、今年度からは歴史文化交流館（仮称）の建設も始まり新しい施設も充実してくる。有効的な利活用を進めていくためにも、適切な管理運営が求められる。</p> <p>(1) 波佐見町講堂の利活用状況は。</p> <p>また、どのような管理を行っているのか。</p> <p>(2) 歴史文化交流館（仮称）の管理運営の基本的な考えは。</p>		

通告順位	5	通告者	5番 北村 清美 議員		
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>長崎県は全国で最も人口減少が進んでいる。本町では全体的には緩やかであるが、地区によっては急激な過疎化が始まっている。そこで、この現状を踏まえ、次のことを問う。</p> <p>1. 消防団について</p> <p>(1) 団員の確保は大丈夫か。</p> <p>(2) 報酬は適正か。</p> <p>(3) 消防団の運営は適正か。</p> <p>(4) 出動手当は適正か。</p> <p>また、自治会長による出動要請は手当がでないのか。</p> <p>(5) 自治会に過度の負担が無いのか。</p> <p>2. 人口減少の歯止めについて</p> <p>(1) 空き家の現状、また、町主導の解体及び活用は。</p> <p>(2) 土砂災害防止法により、地区によっては住宅の建設に制限がある。住みやすい環境にするために合併浄化槽の設置を町でできないか。</p> <p>(3) 人口減少により、自治会活動のための地域住民の負担が増えている。町としてその負担軽減を図る手段はないか。</p>				

通告順位	6	通 告 者	1 2 番 堀 池 主 男 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 本町職員の健康管理と勤務体制について</p> <p>職員は、日常の仕事に加えて時間外勤務、出張の他、各種イベントへの協力など大変だと思うが、次の点について問う。</p>		
	<p>(1) 平成30年度に各種イベントへの協力で、陶器まつりや夏まつりなどの主なイベントへの配置人員の状況はどうだったか。</p> <p>(2) 30年度、休日出勤が多い職員は何日か。 また、時間外勤務は何時間か。</p> <p>(3) ノー残業デーは、一週間に水曜日、金曜日と決まっていると聞くが現状はどうなっているか。</p> <p>(4) 職員の体調、ストレスなどの健康管理や家庭サービスには配慮されているか。</p> <p>(5) 職員が出張や代休、有給休暇などで不在のとき、来庁された住民への対応は問題ないか。</p>		
<p>2. 教育行政について</p>			
<p>(1) 過去にも岡山県津山市や新潟市で女兒が殺害された。また、長崎市では、下校中の女兒への強制わいせつ致傷事件があり、今回川崎市多摩区で5月28日朝、児童ら20人が無差別に刺された痛ましい殺傷事件が報道されたが、この事件を踏まえ、各学校、保護者、児童・生徒への、指導や今後の対応はどうなっているか。</p> <p>(2) 滋賀県大津市の交差点で車2台が衝突し、その内の1台に歩道にいた保育園児らが巻き込まれ、2歳児2人が死亡する痛ましい事故があった。児童・生徒が利用する登下校時の交差点や歩道は大丈夫か。</p> <p>(3) ランドセルが重くて、腰痛などを訴える児童もいると聞くが「置き勉」について各小学校の保護者からの声はないか。</p> <p>(4) 学校内に不審者が侵入した場合の対策は十分できているか。 また、防犯カメラの設置はどうなっているか。</p> <p>(5) 南小学校の校庭に昨年6月末、PTAや校区内の皆さん、町職員など多くの参加で芝生の植え付けがされたが、現状と今後の管理はどうなっているか。</p> <p>(6) 雨期に入り、その後夏期と暑い日が来るが、川や溜池の危険個所や夏休</p>			



	み期間中のプールへの行き帰りの安全対策と児童・生徒への指導はどうなっているか。
--	---

質問の相手	町 長、教育長
-------	---------

--	--

通告順位	7	通 告 者	1 番 福 田 勝 也 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 人口減少について</b></p> <p>多くの離島を抱える長崎県においては、人口減少が大きな問題となっている。また、県庁所在地である長崎市においても、人口流出が全国ワースト1となっている。</p> <p>本町においても例外ではなく、15年ほど前からすると約1,000人もの人口が減少している。</p> <p>(1) 人口減少については、少子化の問題、若者の町外、県外への流出など考えられるが、本町としてどのように考えるか。また、どのような対策を図っていくのか。</p> <p>(2) 県は、人口減少の抑制・地域活性化を目的とした地域を担う人材の育成として「ふるさと教育」を推進している。</p> <p>「ふるさと教育」とは具体的にどのような内容なのか。また、本町においてもどのような教育を推進するのか。</p> <p><b>2. スポーツ振興について</b></p> <p>スポーツは、体力・技術の向上だけでなく、コミュニケーション能力や、リーダーシップの育成など青少年健全育成には不可欠である。また一般、高齢者に対しても、体を動かすことより、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、体力、健康の保持増進に繋がり、生涯にわたりスポーツに親しむことが大切だと考える。</p> <p>(1) 現在、小・中学生でクラブチームや部活で何割の児童・生徒が活動しているのか。体育協会には何競技で何名程度の方が活動されているのか。</p> <p>また、10年ほど前からすると増減はどうか。</p> <p>(2) 本町のスポーツ施設には体育センター、鴻ノ巣グラウンド、各学校の体育館がある。今後、競技人口、競技力の向上につながるようなスポーツ環境の整備の考えはあるか。</p>		

通告順位	8	通告者	9番 尾上 和孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 子ども達の安心安全について</p> <p>先月、大津市で散歩中の保育園児の列に車が突っ込み、幼い命が奪われた。また、川崎市多摩区では小学校のスクールバスを待っていた児童らが、包丁を持った男に、次々に襲われ児童や保護者の父が亡くなられるという、痛ましい事件が起きている。</p> <p>(1) 2001年8人が殺害された、池田小の児童殺傷事件を契機に、学校によっては校門の施錠や、防犯カメラの設置など不審者の侵入防止策がとられているところもある。また、政府としては、「登下校防犯プラン」をまとめ、学校や地域住民、警察などが連携し、犯罪が起きやすそうな場所を確認して警戒するよう求めていたと聞く。本町はどのような対策をしているのか。また、犯罪が起きやすい場所に防犯カメラ設置などできないか。</p> <p>(2) 車による交通事故は、自然災害と違い、対策によっては防げる事ができる事もある。交通量が多い交差点や、なぜか事故が多い交差点、登下校での信号待ちでの待機所などすべてに強度のある車止めの設置ができないか。</p> <p>2. 子どもの貧困対策について</p> <p>県において、昨年実施した子どもの生活に関する実態調査結果が公表され、相対的な貧困率は11.2%で、貧困状態にある子どもは、そうでない子どもに比べて自己肯定感が低い傾向があるとのことであった。</p> <p>相対的貧困世帯については、子どもに「医療機関を受診させられなかった」、「習い事に通わせられなかった」、など経済的な事情で治療や学習などの機会が制限されていた。保育所やNPO法人を通じて行った、「貧困が伴うと考える子どもの状況」という県の調査でも食事を十分にとれていない(84.2%)と断トツの結果がでてきている。</p> <p>(1) 給食費(食材費)は、学校給食法では保護者の負担とされているが、無償化は各自治体の判断で実行でき、首長選の公約にもなるケースも少なくないと聞く。現在、小・中学校の給食費はいくらか。</p> <p>また、今後、無償化はできないか。</p> <p>(2) 貧困状態にある子どもや孤食になりがちな子どもに食事提供など支援をしたい団体があれば、町としてはどのような支援ができるのか。</p>		

通告順位	9	通告者	6番 脇坂 正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 参議院議員選挙等における投票率の向上対策について</b></p> <p>参議院議員選挙の投票が7月21日（日）に予定されている。最近の選挙は全国的に投票率が低く、本町も低下が続いている。投票率の低下は、民主主義の根幹を揺るがしかねない。その原因は様々であり、投票率向上は重要な施策と思う。以下、低下の原因や対策を問う。</p> <p>(1) 本町の投票率は、ここ10年間で約10%減である。その要因は何か。</p> <p>(2) 今度の参議院議員選挙について、投票率向上のために実施する重点項目はあるのか。</p> <p>(3) 選挙はほぼ毎年度実施される。長期的には常時啓発等が必要と思うが、実施予定はどうか。</p> <p>(4) NIE（教育に新聞を）等による児童・生徒への主権者教育の実施状況はどうか。</p> <p><b>2. 食品ロスの削減について</b></p> <p>「食品ロス削減推進法」が5月24日に成立した。食品ロス削減のため、各自治体は具体的な削減計画を作る努力義務が課せられることとなる。そこで今後の推進計画等を問う。</p> <p>(1) 本町における食品ロスの量は、年間推計でどの位か。</p> <p>(2) 食品ロス削減のため、町民や事業者への周知・啓発はどうするか。</p> <p>(3) 食品ロスを削減するための「3010」運動の実施状況はどうか。</p> <p><b>3. 児童・生徒の健康維持について</b></p> <p>小・中学校の熱中症対策として扇風機、エアコンの整備が推進され、教室の暑さ対策は、一段と改善すると思うが、健康維持のためには、更に適度な水分補給が必要である。現在、児童・生徒は家庭から持参した水筒の飲料と、給食の牛乳等で充足していると思う。しかし、水筒を忘れた場合や水筒の飲料だけでは不足することも考えられる。</p> <p>このような際の対応策として、小・中学校に冷水器を整備することも必要と思うがどうか。</p>		

通告順位	10	通告者	4番 三石 孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p><b>1. 少子高齢化に伴う委託事業の対応について</b></p> <p>(1) 少子高齢化に伴い、自治会の活動にも苦慮されている状況である。自治会への委託事業はどれくらい存在するのか。 また、民間・個人の場合はどうか。</p> <p>(2) 委託事業の継続判断や見直しの検討は行っているのか。</p> <p><b>2. 教育行政について</b></p> <p>(1) 通学路の安全確保及び環境整備はできているか。</p> <p>(2) 歴史文化交流館建設費借入分の返済計画とランニングコストなどの詳細はどうなっているか。</p> <p><b>3. 災害及び事故対策について</b></p> <p>(1) 自治会からの道路等整備要望の実現に向け、どのような進め方を行っているのか。</p> <p>(2) 老朽化した、ため池の決壊等の災害対策は万全か。</p> <p>(3) 2級河川である川棚川の立木伐採について、今後どのように対応していくのか。</p>		